

第9回 複合土砂災害に関する国際ワークショップに参加

日本、インドネシア、ネパール、台湾、ブータンの科学者や技術者で構成されるMultimodal Sediment Disaster Network (MSD-Network 複合土砂災害に関するネットワーク)による国際ワークショップ

9th International Workshop on Multimodal Sediment Disasters in Tsu

が10月17日～19日にかけて三重大学(三重県津市)で開催されました。

このワークショップは、MSD-Networkに所属するメンバーが土砂災害に関する研究や教育等についての活動成果を発表し知見を共有することを目的として、毎年開催されているものです。

(日本での開催は平成24年の岐阜県、平成28年の京都府での開催に次いで3回目の開催)

砂防課と土砂災害啓発センターは、紀伊半島大水害後に取り組んだ土砂災害に関する調査研究や砂防事業についての情報を発信するため、このワークショップに応募し、**口頭発表(英語による)を行う機会を与えられました。**

また10月19日には、ワークショップの現地視察として、土砂災害啓発センターと那智川流域の視察が行われました。

口頭発表と現地視察の様子は以下の通りです。砂防課と土砂災害啓発センターでは、これからも土砂災害に関する情報発信を行ってまいります。

口頭発表の様子
(砂防課)



口頭発表の様子
(土砂災害啓発センター)



啓発センターでの説明の様子
(国総研 木下主任研究官による説明)



現場見学時の記念撮影



10月17日から18日にかけて5部門において発表が行われ、Landslide and groundwater 部門で砂防課1名・土砂災害啓発センター3名が、Rainfall, warning and evacuation system 部門で土砂災害啓発センター1名が発表を行いました。

10月19日には、土砂災害啓発センターで同センター及び大規模土砂災害対策技術センターの取り組みと紀伊山系砂防事務所による砂防工事の説明と現地見学が行われました。

問い合わせ先

和歌山県土整備部河川・下水道局砂防課 〒640-8585 和歌山市小松原通1-1 TEL 073-441-3171

和歌山県土砂災害啓発センター 〒649-5302 那智勝浦町市野々3027-6 TEL 0735-29-7531